

## 2020年度事業報告

2020年1月1日～12月31日

### I 事業実施報告

今年度の大阪自然史センター定期総会は新型コロナウイルスの感染防止のため、オンラインで総会を開催することといたしました。

新型コロナウイルス感染症の拡大が昨年初めに報じられ、何とも歯がゆい状況がいまだに続いております。感染拡大防止の観点から、センターの活動拠点である大阪市立自然史博物館（以下、博物館）は2020年2月29日から休館、またその後、緊急事態宣言が発令され、5月6日まで延長されることになりました。

センターの活動も大きな制約を受け、とくにミュージアムサービスの柱となる館内のミュージアムショップは閉鎖され、ショップ以外にも子どもワークショップの運営、博物館友の会のサポートなど、多様な活動を通しての博物館事業の支援活動も中止・延期をやむなきに至ったことは、皆さますでにご承知のとおりです。

センターは認定NPO法人として、事業の受注と実施を通して、スタッフは日々の生活の糧を得ています。こうした経営は一般の小規模企業と何ら変わるところなく、収入の道の多くを閉ざされ、危機的状況となりました。

そこで、事務局内での検討を重ね、日常業務や履行責任を伴う業務がおろそかにならないようにするとともに、来るべき平常時にすぐに起動できるよう、体制を再検討して備えました。

受けられる国や地方自治体などの補償・手当だけで生活を維持するのはとても困難な状況を認識し、センターの灯を絶やすことのないよう、スタッフの雇用を続けてきました。さいわい、現在のスタッフは高い能力とモチベーションを保持しています。

このような逆境下ではありましたが、うれしいことに新しい仕事の声掛けをいただいたり、営業中のネットショップには従来に増すご注文をいただきました。また、寄付のお願いをしたところ、多くの方々から多額のご支援をいただきました。

自然に親しみ、実物とふれあうことによって得られる経験は何事にも代えがたいものです。博物館ならではのそうした経験をサポートしようとする意欲にあふれたスタッフを維持し、今後の活動を支える経営基盤強化ができたことは、博物館・センターのユーザーコミュニティの深いご理解があつてのことと深く感謝しております。

2021年は、大阪自然史センターがNPO法人化して20周年となります。コロナ禍の先行きが気がりではありますが、正しい情報を的確にとらえ、日常的なコミュニケーションをより深化させ、ユーザーコミュニティの思いがかたちとなる事業活動をめざします。意欲・経験・技能を併せ持つ社員の皆様には、友の会事業を始め各種事業に参画していただくなど、幅広い活動の支えを期待しています。

## II 各事業について

### 1. 友の会事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館友の会を組織し、会報 Nature Study 毎月の 12 回発行と月例ハイキングや友の会イベントなど自然観察事業を実施した。(コロナウィルス感染防止対策の影響により中止の行事も多くあった)

[場 所]

大阪市立自然史博物館および大阪府内など

[日 時]

2020 年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会へ入会した市民等 1567 名(うち賛助会員 94 名)

### 2. ミュージアムサービス事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センターへの来館・来場者に自然史科学の普及およびサービスを実施するため、大阪市から占用許可を受け、博物館の掲げる趣旨に沿って、自然史に関する書籍・自然観察道具やグッズ等を特別展示や各種イベント開催に合わせて販売。多くの博物館来館者に満足していただけるようサービスの提供に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、学会・イベント等の開催中止が相次ぎ出張販売の機会に恵まれない一年となりましたが、オンラインで開催されるイベントには積極的に参加しました。

また、全国の書店やミュージアムショップへの委託・卸販売など、店舗の運営と平行させて事業展開を行った。

「いえもにあ (オンライン)」、「神保町ヴンダーカンマー (東京・オンライン)」、「博物クリスマスデリバリー (オンライン)」など、生き物をテーマにしたイベントに参加し、外部への販路拡大に努めました。ネット販売にも力を入れ、緊急事態宣言下の 4 月～5 月は非常に多くの方々にご利用いただきました。

2020 年に企画した新商品は、「外来生物 T シャツ」、「外来生物エコバッグ」、「【支援商品】蓄光バッジ『OMNH 的アマビエ』」、「【支援商品】ステッカー『OMNH 的アマビエ』」、「【支援商品】ステッカー『#おうちミュージアム』」ほか。

[場 所]

大阪市立自然史博物館ほか各種学会・イベントなど

[日 時]

2020 年通年

[対象者]

一般来館者・各種学会・イベント参加者等

### 3. ボランティア事業

実施なし

### 4. 出版事業

[内 容]

自然史科学の書籍の発刊企画を行い、自然観察を通じて自然史科学の普及に努める準備をした。

## 5. 調査研究受託事業

[内 容]

自然史科学の振興のための貝塚市自然環境基本調査、能勢町博物標本整備事業等を受託・実施した。

[日 時]

2020 年通年

[場 所]

大阪府内など

## 6. 普及教育事業

[内 容]

自然史科学の普及教育のため大阪自然史フェスティバル(縮小)等の各種イベント・事業のチラシ・資料・看板等作成、ワークショップなどを受託・実施した。また、博物館等維持管理の一環として大阪市立自然史博物館子ども向けワークショップ業務、「外来生物展」キッズマップ、キッズパネルの企画デザインを受託実施した。キッズプラザ大阪生態展示「アリコロカナギス」維持管理業務(6月末契約終了)、池田市立五月山動物園ワークショップ業務(3月末契約終了)、「いばらきいきもの博」運営業務等を受託実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、キッズプラザ大阪、池田市立五月山動物園、大阪府内など

[実施日時]

2020 年通年

## 7. 自然保護・自然環境保全に関する事業

### 関西自然保護機構

[内 容]

関西自然保護機構を組織し、会誌の発行、シンポジウムの開催、研究支援事業の実施、自然保護に関する提言、調査研究の受託、その他機構の目的を達成するために必要な事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府内など

[日 時]

2020 年通年

## 8 施設運営管理事業

### 高槻市立自然博物館の施設管理運営事業

[内 容]

自然史科学の振興普及および自然保護・自然環境の保全に関する体験施設の運営管理事業として、高槻市立自然博物館(前高槻市芥川緑地資料館)の施設管理運営事業を、地元の NPO 法人芥川倶楽部と大阪自然史センターが共同で「あくあびあ芥川共同活動体」を組織し、センターが主に人事経理総務部門を受け持ち、高槻市の仕様に基づき施設の維持管理及び博物館運営に取り組んだ。

[場 所]

高槻市南平台 5-59-1 高槻市立自然博物館

[事業期間] 2017 年度から 2021 年度末まで

### Ⅲ 社員総会の開催状況

[名 称] 2019年度(第19期)定期総会  
[場 所] 大阪市立自然史博物館会議室  
[日 時] 2020年2月1日(土)午後3時00分～4時00分  
[出席者数] 39名 (社員総数73名 本人出席 29名、委任状出席 10名)  
[内 容]  
議 事

第1号議案. 2019年度事業報告(事業報告書参照)

事務局から定款記載の事業を例年どおり実施したことが報告され、出席社員の満場の一致をもって2019年度事業報告を承認した。

第2号議案. 2019年度収支決算報告(財産目録、貸借対照表、活動計算書参照)

事務局から決算内容が説明され、監事から監査報告があり、出席社員の満場の一致をもって2019年度決算を承認した。

第3号議案. 2020・2021年度事業計画(事業計画書参照)

事務局から定款記載の事業を実施する旨の提案説明があり、出席社員の満場の一致をもって2020・2021年度事業計画を承認した。

第4号議案. 2020・2021年度活動予算(活動予算書参照)

事務局から活動予算について提案説明し、出席社員の満場の一致をもって2019・2020年度予算を承認した。

以上の議案について事務局より一部誤植を修正し、また、所轄庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を説明し、出席社員の満場の一致をもって承認した。

### Ⅳ 理事会の開催状況

#### 第1回理事会

[名 称] 2020年度第1回理事会  
[場 所] 大阪市立自然史博物館 集会室  
[日 時] 2020年2月1日(土)午後1時00分～2時50分  
[出席者数] 13名 (総数14名 本人出席 10名、議決権行使書 3名)  
[内 容]

#### 議事

議題1. 総会提出議案について(総会資料参照)

議題2. その他

\*労働契約の無期転換について事務局で検討する。

\*今年度の理事会・総会開催予定について

3/28(土) 8/23(日) 12/19(土) 2021年2/6(土)

#### 第2回理事会

[名 称] 2020年度第2回理事会  
[場 所] 大阪市立自然史博物館 集会室  
[日 時] 2020年3月28日(土)午後3時00分～4時30分

[出席者数] 13名 (総数 14名 本人出席 8名、議決権行使書 5名)

[内 容]

議 事

議題 1 感染症への対応について

コロナウイルス騒動により従来の事業運営ができない状況が続く、資金面も大変になっている。今のところ昨年度分の未収入金が入ってくるが、7月頃には現金不足になる。経費節減のため、人件費の削減・消費税の分納・雇用関係助成金の申請など検討する。

議題 2 事務局・執行体制及び職員待遇にかかる規則整備について

2020年4月1日より無期雇用転換ルールに対応できるよう就業規則の見直しをし、他の箇所も現行に合うよう改定した。(資料参照)

該当する職員には面談の際、意向を確認した。

議題 3 2020年度事業の進捗について

\*大阪市立自然史博物館・高槻市立自然博物館が休館中のためミュージアムショップやワークショップ等が止まっている。

\*グランフロントなど館外のワークショップ中止。

\*五月山動物園のワークショップは白紙に。

\*キッズプラザ大阪の展示メンテナンスは通常。

\*能勢町博物標本の維持管理事業のスタート。

報告 監督官庁への届け出事務について

大阪府・大阪市への寄付金税免除申請完了。

大阪市へ事業報告書・役員報酬規程等提出書完了。

その他

NPO 税務申告の欠損金について

税務申告の際、経常収益のうち受取会費・受取寄附金・受取助成金等が控除されるため、活動計算書の収支決算とずれが生じる。

### 第3回理事会

[名 称] 2020年度第3回理事会

[場 所] Zoom 会議

[日 時] 2020年5月23日(日)午後4時30分～6時00分

[出席者数] 13名 (総数 14名 本人出席 11名、議決権行使書 2名)

[内 容]

議 事

議題 1 感染症への対応経緯を主にして、上半期の事業進捗について

\*博物館休館に伴うミュージアムショップの閉鎖(コロナ対応の経緯)

\*受託事業の中止・契約解除(キッズ生態展示業務解約・池田五月山動物園 WS 業務など)

\*ホームページでの声明(理事長声明当面のセンター方針発表)

\*職員勤務体制の縮小(業務縮小に応じた勤務日数の調整)

\*通販の強化(ホームページほか SNS 等の強化)

\*感染症対応(ミュージアムショップや高槻市立自然博物館は、それぞれ大阪市立自然史博物館・高槻市との調整のうえ実施)

\*友の会事業・その他事業の状況(館外業務は非実施となり、館内業務も制約のある中で実施)

\*寄付金募集及び活用の状況(超大口案件もあり、当初目標を超えた)

\*上半期決算(7月含む)状況(別紙に基づき事務局長から説明)

\*人件費の削減・ボーナスの一部カット・消費税の分納検討・雇用関係助成金の申請など経費節減に努めてきた。先が見えない中で業務の改廃に応じ、能力ある職員の確保維持に努めてきた、今後も継続する。

## 議題 2 2020 年度下半期事務・事業の展開について

4月以降の感染症への対応が、下半期にも及んでくるため、事業運営は苦しい状況が続くと見込まざるを得ない。編集業務や能勢町業務など受託もあるが、時勢やIT環境に即した展開がどうできるか事務局・職員での意思集約に努めよう。

### 諸意見

職員の意向を集約

時代に遅れないよう

オンライン事業先手で開拓も

募金活動でセンター活動が継続維持できていることをアピール

まだ予断を許さない状況、体制の縮小も見据えた事業展開は

ネット活用は双方向に利点

館の属する博物館機構の展開も考慮

センターとしての可能性を探る

先年作成の経営計画を生かそう

センターの独自性と館との協調性を見極めよう

職員処遇への制度整備

コロナ等危機管理方針の整備(修正意見等は26日までに)

館の修繕工事9月には始まる

2021年2月には本館での工事も予定され、休館も想定

## 第4回理事会

[名称] 2020年度第4回理事会

[場所] Zoom 会議室

[日時] 2020年12月19日(土)午後4時00分～5時50分

[出席者数] 14名 (総数14名 本人出席12名、議決権行使書2名)

[内容]

### 議 事

#### 議題 1 2020 年度・2021 年度の事務・事業について

- ・2020年度収支の状況(決算見込み)について

寄付受領状況

- ・2020年度事業の進捗について

- ・2021年度事業計画・予算について

博物館休館に伴うミュージアムショップの閉鎖や受託事業の中止・契約終了(キッズ生態展示業務・池田五月山動物園WS業務)などにより事業収入は大幅に減少したが、職員勤務体制の縮小(業務縮小に応じた勤務日数の調整)・通販の強化(ホームページほかSNS等の強化)などで対応した。ホームページでの声明(理事長声明当面のセンター方針発表)やクラウドファンディングなどで支援を呼びかけ多くの方々から応援をいただき、多くのご寄附をいただいた。また、国や行政からの助成金や給付金の申請をし、どうにか年度末決算は黒字で終わることが出来そうである。

来年度についてもコロナ収束の見通しは立たず、現況と大きな変化は望めないが、インターネットを利用した動画作成など新たな分野にも活路を見出したい。

#### 議題 2 事務局・執行体制及び職員処遇について

ここ数年来の最低賃金の増加に伴っての給与の増加が低いので見直しをする方向で考える。

査定により給与表によるアップと手当(学芸員手当、主任手当など)を新たに設けるなど資金に無理のないよう事務局の方で案を検討する。

#### 議題 3 役員改選について

全役員の方々に留任をお願いしたい。

前迫理事から KONC とのからみがあるので保留にして欲しいと要望。

議題 4 総会・理事会の開催（案）について

- ・日時：2021年2月6日 午後1時から理事会  
午後3時から総会開催予定
- ・場所：Zoom 会議方式

議題 5 その他

- ・KONC の基金の有効な使い方について
- ・事務局の保管書類の置き場所について  
保管期限の切れた書類の廃棄や電子化などの検討